

令和6年9月6日



連絡先

三重県総合文化センター  
総務部 総務課 企画広報係  
(担当者)鈴木恵  
(電話)059-233-1105  
(FAX)059-233-1106

## そうぶんの窓アート 開館30周年スペシャル!

2013年から始まった「窓アート」。  
今回はそうぶんの開館30周年記念スペシャルとして、これまでにイラストを担当して下さったアーティストさんが勢ぞろいします!また、キャンバスは窓ではなくてコロナ禍に使用していたアクリル板。

これまでとはちょっと違った「窓アート」をぜひご覧ください。

### 【オリジナルグッズの販売】

アートショップ Mikke で参加アーティストさんの絵本やオリジナルグッズを販売します。

### 【イベント概要】

1. 展示期間 令和6年9月5日(木曜日)から令和7年3月23日(日曜日)まで  
休館:月曜日(祝日の場合は翌平日)、  
年末年始(12月29日から1月3日まで)
2. 展示場所 三重県総合文化センター メインエントランス上の通路  
(津市一身田上津部田1234)
3. 観覧料 観覧自由 無料
4. 主催 公益財団法人三重県文化振興事業団
5. 問合せ先 三重県総合文化センター 総務部 企画広報係  
〒514-0061 津市一身田上津部田1234  
TEL:059-233-1105/FAX:059-233-1106  
E-mail:soumu@center-mie.or.jp
6. 添付資料 PR用カード

7. イベント詳細 URL



<https://www.center-mie.or.jp/event/detail/50892>





【参加アーティスト、過去の作品】

<p><b>絵本作家 つつみあれい</b></p> 	<p>三重県津市生まれ。 絵本に『ピーナッチャンとドーナッチャン』シリーズ(小峰書店)、 『みっけちゃん』(フェリシモ出版)、『カペリーちゃん』(風 濤社)、『マドレーヌは小さな名コック』(徳間書店)、『スト ーブの娘』(kalas Books)など。 美術館、小学校、幼稚園、保育所などで、子どもたちと一緒に絵 を描く活動を続ける。</p>
	
<p>2013年12月／窓アート初開催</p>	<p>2015年1月／「まほうのふえ」</p>

<p><b>美術作家／イラストレーター</b> たまきなお <b>田槇奈緒</b></p> 	<p>三重県伊賀市在住。 素材や技法など様々な表現でのイラストレーションを制作。商品 パッケージのイラストやロゴ、店舗の壁や、イベントで窓に絵を 描くことも。絵画と造詣のアトリエを開き、自身の作品展は地元 や関西などで毎年開催。</p>	
		
<p>2015年10月／ 秋の窓アート</p>	<p>2016年12月／ ヘンゼルとグレーテル</p>	<p>2021年12月／ 旅に出よう！窓から広がる世界</p>

<p>はっとり み ほ  <b>絵本作家 服部美法</b></p> 	<p>鈴鹿市生まれ。          大杉華水氏に師事し伊勢型紙を学ぶ。子どもの本の専門店「メリーゴーランド」（三重県四日市市）主宰の「絵本塾」に参加。著作に「おふくさん」シリーズ（大日本図書）、「もりのちいさなはいしゃさん」シリーズ（文・上平川侑里／山画廊）、「わがしやパンダ」（作・香桃もこ／福音館書店）などがある。</p>
<p>2018年12月／          ヘンゼルとグレーテル</p>	

<p><b>絵本作家／イラストレーター</b>  <b>すけのあずさ</b></p> 	<p>大阪生まれ和歌山在住。京都精華大学芸術学部マンガ学科卒業。2011年より約2年間の世界一周ハネムーンへ。子どもの本専門店メリーゴーランドの「絵本塾」で絵本作りを学ぶ。          2020年第21回ピンポイント絵本コンペで最優秀賞受賞。          著作絵本『うみのハナ』『やぎのタミエはおかあさん』『みずうみ色のウィピル』（BL出版）          毎日新聞（和歌山紙面）にてイラストコラム『カントリースケッチ』を連載中。</p>
<p>2020年1月／          山の家のふたごのこ</p>	

イラストレーター／デザイナー  
いとうゆうこ



四日市市出身。  
津市で購入した築140年以上の古民家を、掃除をして草刈りをして、土壁を塗り直したりしながら住んでいるが、作業は遅々として進まず、一生完成はしないんじゃないかと思っている。イラストレーションの他に、企業（飲食店、美容院その他）のロゴ、チラシ、パッケージなどのデザインや、そうぶんのイベントのチラシ、パンフレットデザインなど手掛ける。

2021年1月／  
かるみー窓の美術館



イラストレーター  
小森あや




愛知県名古屋市出身、三重県在住。  
服飾作家を経て2019年よりイラストレーターとして活動を始める。  
子育てをする中で三重の豊かな自然や観光地を多くの方に知ってもらいたいと思うようになり、現在はパッケージやパンフレット、WEBのメインビジュアル、イラストマップなど、三重県に関わるイラストレーションを多数手掛けている。

2022年12月／  
ブレーメンの音楽隊







<p>イラストレーター ヒビユウ</p> 	<p>三重県を拠点に活動。2児の母。 SNS で育児漫画を投稿し始めたのがきっかけでイラストや漫画などを描くようになる。著書に「hibi家のムスコとムスメ」①、②（河出書房新社） 個展を中心に新しい表現方法にも挑戦しながら作品を発表している。</p>
--	---



2022年12月／ブレーメンの音楽隊

<p>イラストレーター <small>チャッペ</small> CHAPPE</p> 	<p>三重県四日市市出身。 オリジナルキャラクター、壁画、看板等のデザインを手掛ける。様々なジャンルのイベントでライブペイント、個展のほか、POP UPストアを開催する。 宇宙服を着た犬“P”がメインキャラクター。</p>
<p>2024年1月／ みんなのそうぶん</p>	

### 【そうぶんの窓アートの歴史】

「そうぶんの窓アート」は、2013年12月、つつみあれいさんのライブペインティングで初開催しました。足場を組み、4mを超す大きな窓にあれいさんが白一色で絵を描く。

7時間にわたる制作を多くの方にご覧いただき、そして窓の近くに設置した「絵かきのコデスク」では、たくさん子どもたちがあれいさんに負けないほどのエネルギーで絵を描いてくれました。

翌年は、「三重音楽発信 vol.9 オペラ『魔笛』」の関連イベントとして実施。あれいさんが手がけた絵本「まほうのふえ」のキャラクターたちが登場しました。

2015年は秋に実施。田植奈緒さんが、窓いっぱい大きな大きな木と、愛らしい動物たちを描いてくれました。

2016年は、2017年2月開催のスライドコンサート「ヘンゼルとグレーテル」の関連企画として実施。田槇さんが描くお菓子の家と天使たちがそうぶんに舞い降りました。

2018年は、2019年2月に開催のスライドコンサート「ヘンゼルとグレーテル」のイラストを担当して下さった服部美法さん<sup>はつとりみほ</sup>によって、大きなお菓子の家を食べたり厳めしい顔の魔女と手をつないでいるような写真が撮れる、楽しい絵になりました。

2020年1月に担当して下さったのはすけのあずささん。当時、ご家族とヤギとニワトリと山暮らしをしていたすけのさんが、山の中の生活で出会った素敵なモノたちで窓がいっぱいに。

そして始まった新型コロナウイルス感染症拡大。

それまで「そうぶんの窓アート」は毎回「ライブペインティング」という形で実施し、アーティストさんが大きな窓に絵を描く様子を間近に見ていただいていたのですが、それはできない状況になりました。

コロナ禍中は、イベントの中止・延期が続き、イベントが開催できるようになっても客席間をあけての実施を余儀なくされ、年間100万人の来館者を誇っていたそうぶんもすっかり人影が少なくなってしまうました。

それまでの窓アートはアートショップMikkeの大きな窓にのみ制作していましたが、来館者が減ってさみしくなったそうぶんを華やかにしてアートを楽しんでもらうため、メインエントランス上の通路にもイラストを施すことになりました。

イラスト担当はいとうゆうこさん。そうぶんのキャラクター「応援団鳥<sup>おうえんだんちやう</sup>かるみー」がお家で「巣ごもり」する様子や、かるみーが散歩中にお友達と出会うなど、ユーモラスな作品になりました。

2021年は、長引くコロナ禍で旅行もままならず、暗くなりがちな心を明るくしてもらおうと、初めてカラーで実施。他施設でカラーでの窓アート経験がある田槇奈緒さんに、「せめて窓の中では自由に世界を旅しよう！」をテーマに色鮮やかな作品を描いていただきました。

2022年は、仲良しな二人のイラストレーター、小森あやさんとヒビユウさんが担当。音楽ホールがあるそうぶんにぴったりなテーマ「ブレーメンの音楽隊」で、小森さんがアートショップMikkeの大きな窓に表紙を、ヒビユウさんが通路の長い通路にストーリーを描いてくれました。

2023年。ようやく新型コロナによる規制が解除され、再びライブペインティングが実施できるようになりました。

ライブペインティング再開1回目はCHAPPE<sup>チャッペ</sup>さん。ご自身のオリジナルキャラクター「P<sup>ピー</sup>」ちゃんとかるみーがそうぶんで楽器やダンスなどを楽しむ姿や三重の名所や県内のキャラクターたちと仲良く遊ぶ様子を描いてくれました。

そして2024年。企画を検討している際、倉庫に眠っているアクリル板を使用する案が出ました。

コロナ禍中、来館者の皆さまと職員間だけではなく、職員のデスクにもアクリル板を立ててコミュニケーションがとりづらい状況が続いていましたが、規制解除とともに撤去し、日常が戻ってきています。

今年度はそうぶんの開館 30 周年。これまで窓アートに関わってくださったアーティストさんにお声がけしたところ、皆さん、趣旨に賛同し、お祝いのイラストとメッセージを寄せてくださいました。

個性豊かなアーティスト 8 名の作品が並び、またとない機会です。  
どうぞお楽しみください。